

みんなで守る、いのちと暮らし、豊かな未来

流域治水

事例集

静岡県内市町による流域治水の取組

流域全体で水害を軽減し、
安全・安心で持続可能な地域づくりを目指して



集水域

雨水を貯める・しみこませる



河川区域

安全に流す



氾濫域

被害の軽減・備えをする



みんなで

連携・協働する

目次

施策	内容	市町	頁
河川内の土砂掘削	江川及び新川の土砂掘削	清水町	2
危険木除去	危険木除去（上野部川上流部）	磐田市	
遊水地・調整池の整備	柴田山調整池の整備	磐田市	3
	水堀川調整池の整備	磐田市	
連絡水路の新設	新田第一・第二橋管連絡水路新設	函南町	4
下水道（雨水幹線）の整備	下水道における安全・安心な浸水対策の推進（黒石川排水区）	藤枝市	
	下水道における安全・安心な浸水対策の推進（大溝川排水区）	藤枝市	5
公共施設への貯留施設の設置	公共施設への雨水貯留施設新設（柏谷公園駐車場）	函南町	
学校施設への貯留施設の設置	校庭貯留施設の整備	浜松市	6
道路事業による貯留施設の設置	道路整備事業による調整池の設置	富士市	
高速道路P Aへの貯留施設の設置	日本坂パーキングエリア調整池の活用	焼津市	7
排水機場の設置	西添町第二排水機場の新設	沼津市	
	排水ポンプの設置	牧之原市	8
既存排水機場の改築	柳原雨水ポンプ場の整備	袋井市	
雨水管渠・雨水ポンプ場の整備	下水道（雨水きょ・ポンプ場）の整備	静岡市	9
道路への雨水浸透柵等の設置	道路への雨水浸透柵等の設置	静岡市	
住宅への雨水貯留浸透施設設置の促進	雨水貯留浸透施設設置に対する助成	静岡市	10
	雨水浸透施設の設置促進	島田市	
農業用ため池の活用	農業用ため池を雨水調整池の防災機能として整備	伊豆の国市	11
水田貯留の推進	田んぼダムの取組	袋井市	
	田んぼダムの推進	浜松市	12
アプリを活用した避難支援	防災アプリ「防災ふじ」を活用した避難行動要支援者の避難支援体制構築	富士市	
避難支援のためのシステム構築	巴川浸水情報システム	静岡市	13
	防災情報発信の強化（浜松市土木防災情報システム）	浜松市	
	主要幹線道路の冠水情報提供体制構築	富士市	14
水位計・カメラ等による防災情報の発信	水位計・河川監視用カメラ・雨量観測システムの拡充	藤枝市	
	地内水路の水位計設置、地区住民への展開	富士市	15
	リアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の普及活動	島田市	
	ワンコイン浸水センサ設置・活用	函南町	16
住民の水害リスクに対する理解促進	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組	吉田町	
住民の避難行動の促進	住民が主体的な避難行動につなげるための取組	清水町	17
水防団等の地域防災力の強化	地域防災力の強化	袋井市	
防災教育の推進	防災教育の推進	伊豆の国市	18
避難所としての民間施設の活用	民間施設の一部を緊急避難場所として住民安全確保	磐田市	
ポンプ車・可搬式ポンプの導入	排水ポンプ車、排水ポンプパッケージの導入・運用	沼津市	19
	排水ポンプ車等の増設	焼津市	
	ポンプ場の整備	吉田町	20
	可搬式排水ポンプの設置	吉田町	

清水町
江川



活用制度

- ・緊急浚渫推進事業債

関係者

—

問い合わせ

清水町建設課

TEL: 055-981-8229

【江川】



着工前



完成

【新川】



着工前



完成

◎事例概要

【江川浚渫工事】

施工延長L=1,155m、浚渫工V=277m³、除草工A=272m²

【新川浚渫工事】

施工延長L=390m、浚渫工V=356m³、除草工A=520m²

◎P R ポイント

【江川浚渫工事】

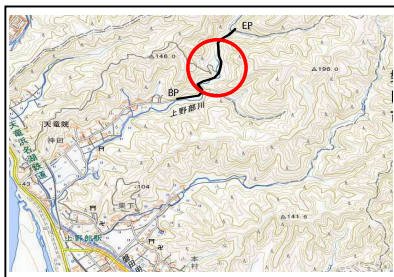
住宅地を流れる河川のため、河川断面の回復に合わせて住環境の向上が図られた。

【新川浚渫工事】

河川の土砂掘削により河川断面の回復が図られた。

危険木除去（上野部川上流部）

磐田市
上野部川上流部



活用制度

- ・森林環境譲与税

関係者

- ・磐田流域治水共創プロジェクト

問い合わせ

磐田市農林水産課

TEL: 0538 (37) 4913



◎事例概要

上野部川上流部の危険木除去

大雨や台風時に山林から流出した倒木は、下流河川の氾濫リスクを高めることから、倒木の流出を抑制するため、上野部川上流の危険木の除去を実施した。

磐田市 柴田山調整池



活用制度

- ・ 県営湛水防除事業

関係者

- ・ 静岡県
- ・ いわた流域治水共創プロジェクト

問い合わせ

磐田市農林水産課
TEL: 0538 (37) 4913



◎事例概要

本調整池の完成により、今之浦川への流入水量を調整することが可能となるため、市南部地域の湛水による農業被害が軽減される。

- ・ 事業期間：平成24年度から令和7年度
- ・ 総事業費：1,475,225,800円
- ・ 流域面積：3,194ha
- ・ 調整能力：北側7万m³ 南側1万m³ 計8万m³

水堀川調整池の整備

磐田市 水堀川調整池



活用制度

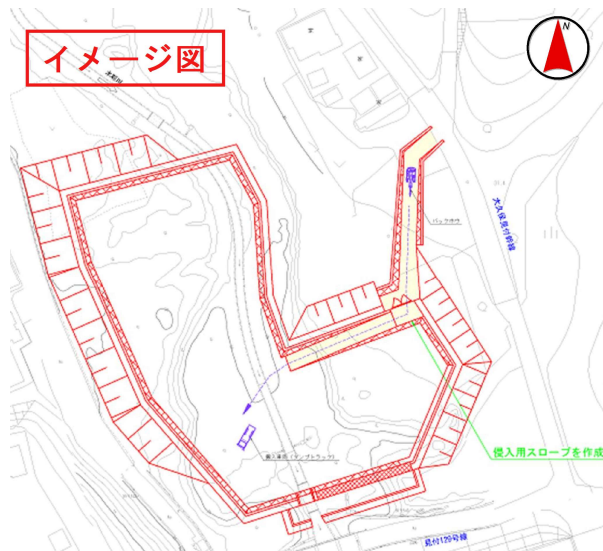
- ・ 普通河川等改修事業
- ・ 緊急自然災害防止対策事業債

関係者

- ・ いわた流域治水共創プロジェクト

問い合わせ

磐田市道 道路河川課
治水対策推進室
TEL: 0538-37-4993



◎事例概要（計画）

- 調整容量 11,800m³
- ・ 伐採工：14,000m²
- ・ 掘削工：50,000m³
- ・ ブロック擁壁工：390m
- ・ 放流工、洪水吐工：1か所
- 調整池による水堀川下流の水位低下 24cm

◎PRポイント

令和4年台風第15号による大雨で甚大な浸水被害を受けた見付・今之浦地区の浸水被害を軽減させるため、水堀川上流域に調整を整備し、水堀川への流入量を減らすことで、下流域の家屋浸水や道路冠水などを減少させる効果が得られる。

函南町（新田地区）

来光川

位置図



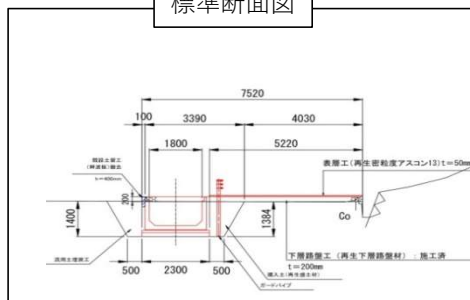
活用制度

・緊急自然災害防止対策事業債

問い合わせ

函南町 建設経済部 建設課
TEL: 055-979-8115

標準断面図



現地写真



◎事例概要

函南町水災害対策プランの対策メニューとして施工。

【対策名】氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【施策名】雨水貯留浸透機能の向上

【概要】新田第一樋管から新田第二樋管までの一部区間（約140m）に連絡用水路を新設（令和6年3月完了）。

◎P R ポイント

新田排水機場への新たな導水路を確保し、雨水貯留機能の向上を図る。

下水道における安全・安心な浸水対策の推進（黒石川排水区）

藤枝市

（準）黒石川

位置図



活用制度

防災・安全交付金事業

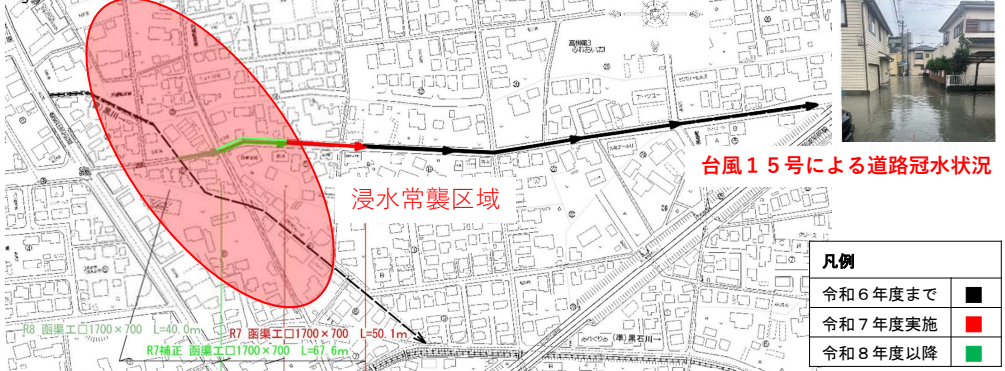
問い合わせ

藤枝市河川課
TEL: 054-643-3516

事業内容

【黒石川排水区】

至 島岡岡部線（旧国道一



台風15号による道路冠水状況



凡例

令和6年度まで	■
令和7年度実施	■
令和8年度以降	■

◎事例概要

当事業は、黒石川排水区、大溝川第2排水区（若王子）など浸水リスクが高い地区の浸水対策を下水道事業で実施するものである。効率的かつ総合的な浸水対策を実施するために策定した雨水管理総合計画に基づき、雨水幹線の整備やバイパス管路の整備等を計画的に進め、浸水被害の軽減を図るものである。

◎効 果

黒石川第6排水区

- ・放流先となる準用河川黒石川の水位が常時高
- ・降雨時に流下能力不足により水位が上昇し都市下水路（幹線）の排水不良に伴う背水の影響・準用河川黒石川が流下能力不足となっている

⇒バイパス水路の布設

ボックスカルバート据付状況



藤枝市
（準）大溝川

位置図



活用制度

防災・安全交付金事業

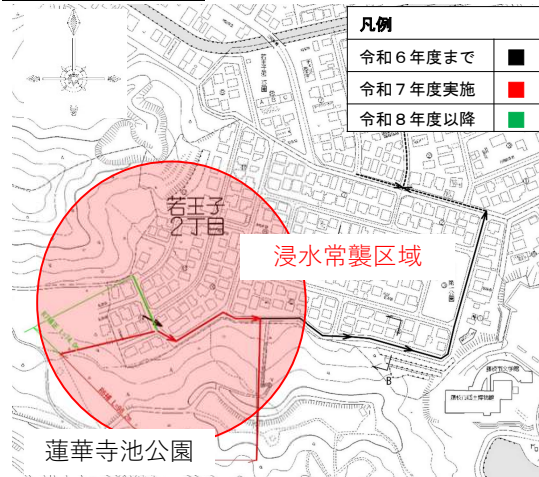
—

問い合わせ

藤枝市河川課
TEL: 054-643-3516

事業内容

【大溝川排水区】



凡例	
令和6年度まで	■
令和7年度実施	■
令和8年度以降	■



台風15号による道路冠水状況



◎事例概要

当事業は、黒石川排水区、大溝川第2排水区（若王子）など浸水リスクが高い地区の浸水対策を下水道事業で実施するものである。効率的かつ総合的な浸水対策を実施するために策定した雨水管理総合計画に基づき、雨水幹線の整備やバイパス管路の整備等を計画的に進め、浸水被害の軽減を図るものである。

◎効果

- 大溝川第2排水区（若王子二丁目付近）
- ・浸水被害が発生した地区はくぼ地形となっており雨水排水が十分行われていない。
- ・排水区域の雨水排除は道路側溝のみで行われており、雨水排除能力が十分でない。

⇒枝線管渠の布設

ボックスカルバート据付状況



公共施設への雨水貯留施設新設(柏谷公園駐車場)

函南町（柏谷地区）

柿沢川

位置図



活用制度

・緊急自然災害防止対策事業債

問い合わせ

函南町 建設経済部 建設課
TEL: 055-979-8115

平面図



現地写真



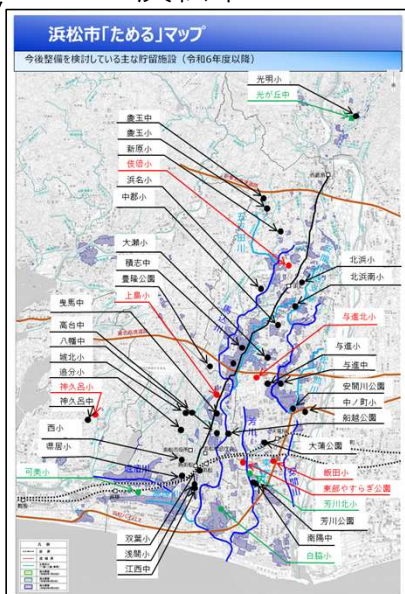
◎事例概要

- 函南町水災害対策プランの対策メニューとして施工。
- 【対策名】氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 【施策名】雨水貯留浸透機能の向上
- 【概要】柏谷公園駐車場に地上式雨水貯留施設を新設（令和7年10月完了）。

◎P Rポイント

既存の公共施設駐車場内の見切り擁壁を嵩上げすることで、雨水貯留機能（可能調整容量：約120m³）の向上を図る。

浜松市



関係者

- ・浜松市土木整備事務所
- ・浜松市教育施設課

問い合わせ

浜松市河川課
TEL: 053-457-2451



雨が降ると...



◎事例概要

浜松市総合雨水対策計画の一環として、重点対策エリア内の小中学校44校において、雨水を一時的に貯留する校庭貯留施設を整備し、治水安全度を向上させるもの。関係機関と連携を図りながら計画的に整備を進めている。

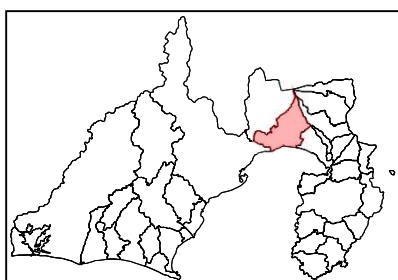
◎P Rポイント

実施にあたり、学校運営に大きな影響が出ないように、学校の意見を取り入れながら整備を実施している。

道路整備事業による調整池の設置

富士市

和田川・小潤井川・伝法沢川



活用制度

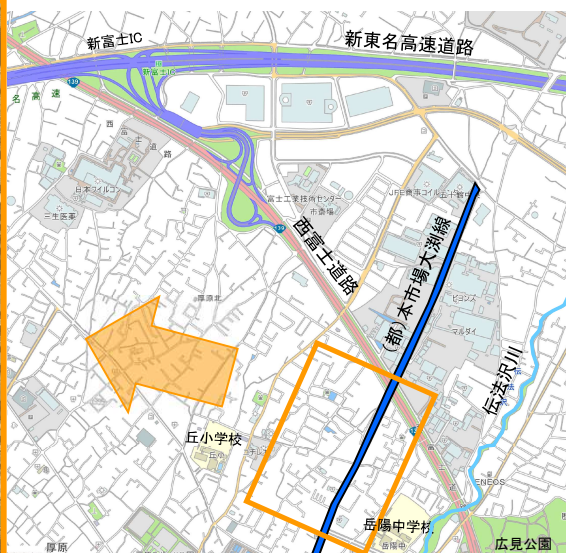
社会資本整備総合交付金事業－街路事業

関係者

—

問い合わせ

富士市道路整備課
TEL: 0545-55-2825



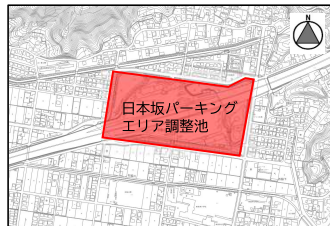
◎事例概要

都市計画道路本市場大潤線は「和田川・小潤井川・伝法沢川水災害対策プラン」の流域内に建設中の都市計画道路であり、下流域に浸水地区があることから本路線の建設にあたり、畑や田などの農地を道路とすることで想定される雨水流出増加分に対して、流出抑制を図るための調整池を設置した。

◎P Rポイント

開発行為と同様の基準により調整容量などを算出している。公共事業での流出抑制を率先して実施することにより、民間の開発行為で宅地化される場合においても、開発者に対して流出抑制対策の実施に関する指導がしやすい環境を醸成する一助となっている。

焼津市 石脇川流域



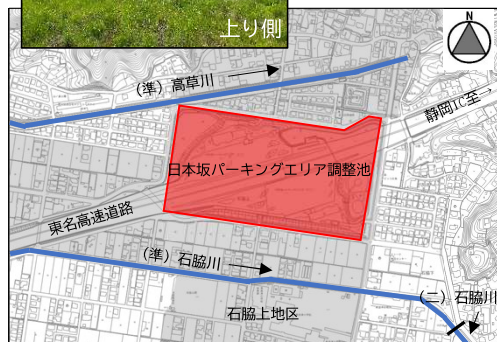
活用制度

・緊急自然災害防止対策事業債
関係者

- ・焼津市
- ・中日本高速道路株式会社東京支社静岡保全・保全サービスセンター

問い合わせ

焼津市河川課
TEL: 054-626-1118



令和4年度台風第15号における日本坂PA調整池周囲の浸水状況



流入口の改良（案）



流出口の改良（案）

水路越流堤高改良（案）

◎事例概要

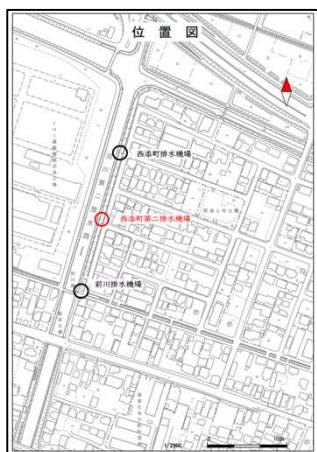
浸水被害が発生している焼津市石脇上地区で、中日本高速道路（株）と焼津市で共同利用している日本坂パーキングエリアの調整池について、近年の豪雨に適応した調整機能の確保に向けた施設改良の検討。

◎PRポイント

民間施設が所有する調整池を活用した治水対策は、流域治水の考え方である、「あらゆる流域関係者の協働による治水対策」の促進に繋がる。

西添町第二排水機場の新設

沼津市西添町地区



活用制度

・緊急自然災害防止対策事業債
関係者

- ・静岡県
- ・沼津市

問い合わせ

沼津市河川課
TEL: 055-934-4786



◎事例概要

沼津市西添町地区は、大雨が降ると道路冠水や浸水被害が度々発生している地域です。西添町地区の浸水被害を軽減するため、前川排水機場、西添町排水機場を稼働させ堤内に溜まった内水を沼川第二放水路に強制排水していますが、近年の大雨に対し地域への浸水被害をより軽減させるため西添町第二排水機場を新設したものです。

本事業は「沼川（高橋川）水災害対策プラン」の目標を達成するための一つの取組として実施し流域治水による治水対策を推進しているものです。

◎PRポイント

全自動（操作員による操作不要）で運用が可能なため、迅速安全な運用が可能です。口径200mmのポンプを2台（4m³/分×2台＝8m³/分）設置することで、一般的な25mプールの水をおよそ45分で空にする能力があります。R7.5の完成以降、大雨の際に稼働し効果を発揮しています。

牧之原市 静波10丁目地区排水路



活用制度 **静波10丁目地区**

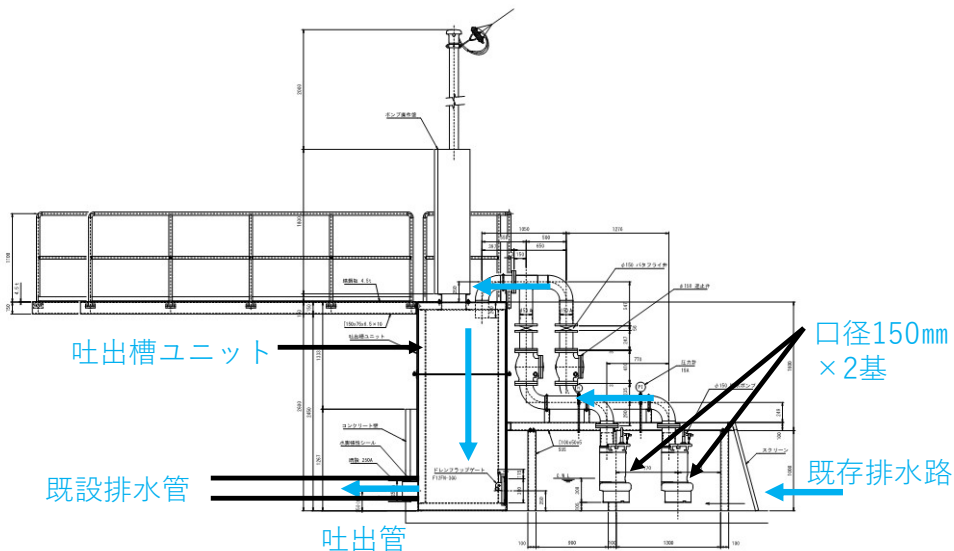
- ・緊急自然災害
防止対策事業債

受注者

- ・電業社工事(株)
藤枝営業所

問い合わせ

牧之原市建設課
TEL: 0548-53-2628



◎事例概要

令和4年9月の台風15号による豪雨等により静波10丁目地区内の排水路から越水して、周辺の畑に浸水被害が及んだことを受け、緊急自然災害防止対策事業債を活用して、既存排水路敷地内に排水ポンプの設置をしました。

◎P R ポイント

排水ポンプ（口径150mm×2基）吐出槽ユニットからの吐出管と既設排水管を直接、接続することで、水圧の減衰がなく、吐出し量を確保して、河川への排水をすることができます。

柳原雨水ポンプ場建設事業

【袋井市】

- (二) 小笠沢川
(普) 秋田川



活用制度

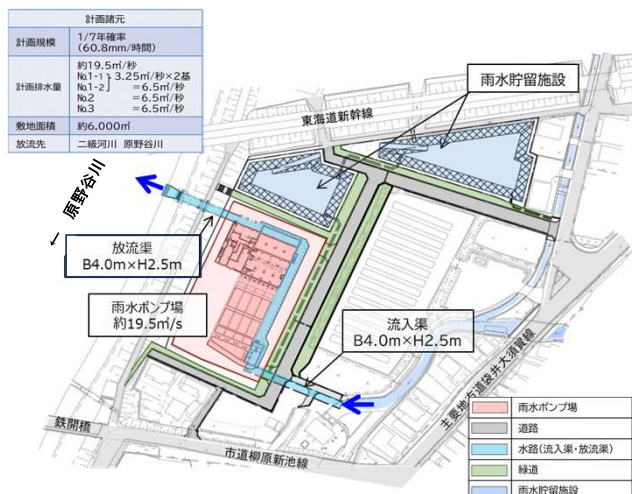
- ・下水道防災事業費補助事業
(大規模雨水処理施設整備事業)
- ・緊急自然災害防止対策事業債

関係者

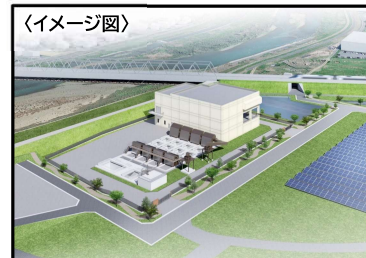
- ・袋井市 土木防災課

問い合わせ

袋井市 土木防災課
TEL: 0538-44-3166



※イメージ図は、実際と異なる場合があります。



◎事例概要

袋井駅南地区は、二級河川原野谷川と小笠沢川の合流地点に位置し、地盤は低く自然排水が困難な地形であるため、洪水時には、既存の柳原排水機場（3.6m³/秒）の農業系排水ポンプにより、強制排水しているが、施設能力が不足しており、これまでも多くの家屋浸水被害が発生している。近年の気候変動による激甚化・頻発化する豪雨被害に対応できるよう、既設の5.4倍の能力を持つ都市型の雨水ポンプ場を整備している。

◎P R ポイント

大規模施設の建設に伴う財源確保や計画的に事業推進を図る必要があることから、下水道防災事業費補助事業（大規模雨水処理施設整備事業）を活用するとともに、下水道事業団と委託協定を結び事業推進に努めている。また、ポンプ場と併せ、超過洪水に対応できるよう、雨水貯留施設の整備を緊急自然災害防止対策事業債を活用し推進している。

地域では、治水対策関連団体が組織され、定期的な意見交換などを行っている。

静岡市 (二) 巴川



活用制度

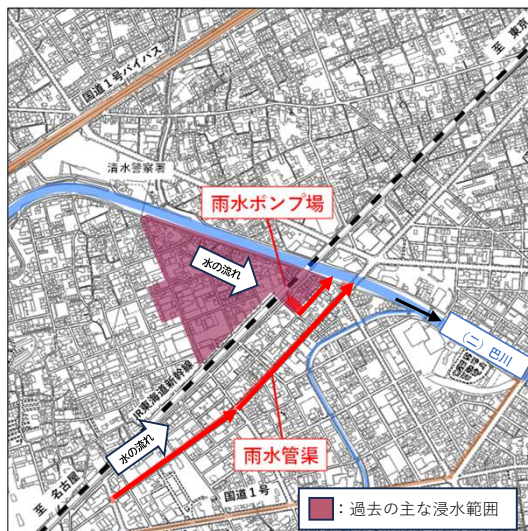
- ・下水道防災事業費補助事業
(大規模雨水処理施設整備事業)

関係者

- ・静岡県
- ・静岡市

問い合わせ

静岡市建設局土木部河川課
TEL: 054-221-1342



事業位置図（静岡市清水区渋川周辺）



雨水管渠内部（内径1,800mm）



雨水ポンプ場整備イメージ

◎事例概要

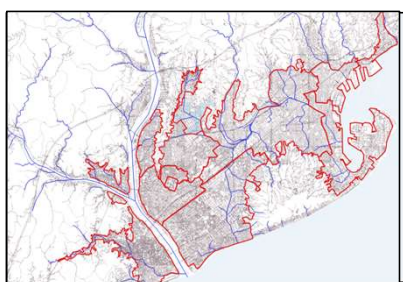
静岡市清水区渋川地区周辺は広い低地部を有しており、過去の台風や豪雨時には度々内水被害が発生してきました。このため、自然排水が困難な低地部の雨水を強制排水する雨水ポンプ場の整備と、上流域の雨水を速やかに排水するバイパス管（雨水管渠）の整備を組み合わせることで、浸水被害の軽減を目指しています。

◎P R ポイント

- ・低地部（雨水ポンプ場周辺）に雨水が集中し、内水被害が発生していることから、上流域の雨水を（二）巴川へ直接排水する雨水管渠を整備することで、ポンプ場への流入量を減らし、効率的な対浸水策を実施する。

道路への雨水浸透枳の整備

静岡市 (下水道全体区域内)



活用制度

- ・社会資本整備総合交付金事業
(新世代下水道支援事業制度)

関係者

- ・静岡市

問い合わせ

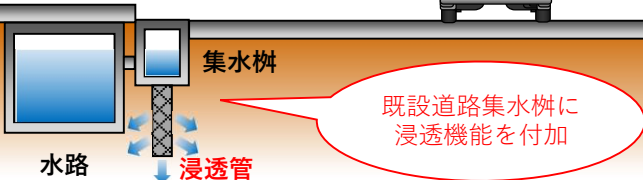
静岡市建設局土木部河川課
TEL: 054-221-1342

効果イメージ

整備前



整備後



既設道路集水枳に
浸透機能を付加



浸透管整備後の集水枳の内部

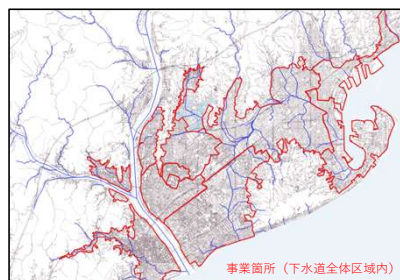
◎事例概要

静岡市では、下水道区域内を対象に雨水浸透機能の増強を図っています。既設の道路集水枳に浸透管を追加し、雨水を地中にしみ込ませることで、河川や下水道への流出量を抑制していきます。あわせて、地下水涵養などの環境改善効果も期待されます。

◎P R ポイント

- ・雨水流出抑制による河川・下水道への負荷軽減
- ・地下水涵養による水循環の健全化

静岡市 (下水道全体区域内)



活用制度

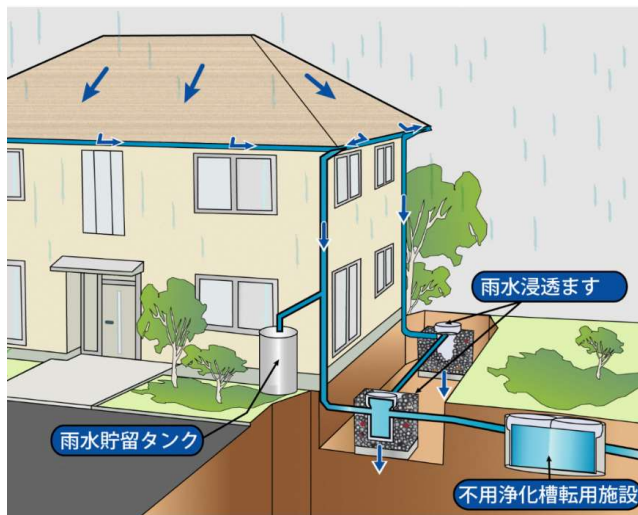
- ・社会資本整備総合交付金事業
(新世代下水道支援事業制度)

関係者

- ・静岡市民・事業者等
- ・静岡市

問い合わせ

静岡市建設局土木部河川課
TEL: 054-221-1342



事業イメージ



雨水貯留タンク設置事例

◎事例概要

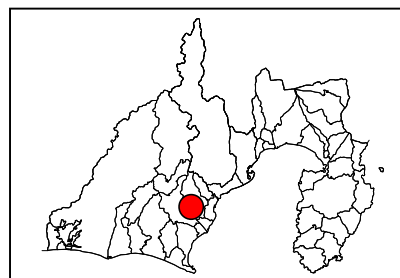
静岡市では、下水道区域内における雨水浸透枺や雨水貯留タンクの設置を促進するため、助成制度を実施しています。自宅や事業所敷地で雨水を一時的に貯めることで、河川・下水道への負担を軽減し、庭木の水やりなどへの再利用による節水を図ります

◎P R ポイント

- ・雨水流出抑制による河川・下水道への負荷軽減
- ・地下水涵養による水循環の健全化

雨水浸透施設の設置促進

島田市 (都市計画区域内)



活用制度

- ・雨水浸透施設設置
費補助金交付制度

関係者

- ・市民
- ・民間事業者
- ・島田市

問い合わせ

島田市都市政策課
TEL: 0547-36-7179



◎事例概要

- ★雨水浸透施設設置費補助金
 - ▶上限金額：30,000円／基
 - ▶対象基数：屋根面積160㎡未満 2基まで 屋根面積160㎡以上 4基まで

- ★宅地分譲における雨水浸透施設設置の義務化
宅地分譲（施行面積1,000㎡以上）では、雨水浸透施設の設置が条件

◎P R ポイント

- ★市民、民間事業者、島田市が協力し、雨水の流出抑制に取り組むことで、地域の安全性を高め、安心して暮らせる街づくりを推進しています。